

こしわ 越王だより

家庭数配布

地域回覧

発行所 新潟市立巻北小学校



令和3年7月16日 No.6

<http://www.makikita.city-niigata.ed.jp/>

めあてに向かって やりぬく

校長 上澤田 誠

7月2日（金）に3年生と4年生が、2年ぶりの角田山登山を行いました。

角田山登山では、3・4年生が一緒になって10名前後の班をつくり、班ごとに行動します。いつもいろいろな場面で頼りにしている5・6年生は、いません。自分たちだけの力で登らなければなりません。子どもたちがどんな姿を見せてくれるか、私は、楽しみで仕方ありませんでした。

子どもたちが登る浦浜コースは、登り始めてすぐに急な階段があり、その後も急坂がしばらく続きます。

「だいじょうぶ？」 「無理しないで、ゆっくりでいいよ！」

急な登りに苦戦している3年生に、同じ班の4年生が優しく声をかけます。そして、頑張っけて登り続ける3年生の姿を心配そうに眺めながら、4年生の班長が号令をかけます。

「ちょっと休憩。みんな荷物を下ろして！水分を補給してね！」

このような光景が、登山道のあちこちで見られました。「今日は、自分たちがリードする」というめあてをしっかりともち、普段5・6年生からしてもらっていることを思い起こしながら行動している4年生の姿が、とつてもたくましく見えました。また、低学年を卒業してまだ間もない3年生が、頂上に向かって自分の足でしっかりと登っていく様子に、確かな育ちを感じました。

頂上で楽しいひとときを過ごした後の下山が、また、ひと苦勞でした。気温が上がり、海風もぴたりと止まったため、疲労感が一気に身体を襲います。それでも子どもたちは、互いに励まし合いながら、一步一步確かな足取りで下山していきました。

そして、やっとたどりついたゴール。ガッツポーズをとる子、友達と喜び合う子、ほっとした表情で静かに微笑む姿…。みんな、やりとげた達成感でいっぱいの様子でした。

めあてに向かってやりぬく体験は、子どもたちを確実に成長へと導いていくようです。

角田山登山を実施するにあたり本当に心強かったのは、保護者ボランティアの皆さんの支えです。適度な距離感を保ちながら子どもたちの様子をしっかりと見守ってくださり、頑張っている時には褒め・励まし、危険を感じたときにはすぐに手を差し伸べてくださいました。大人の温かな見守りがあってこそ、子どもたちは頑張り、成長に向かうことができるのだということを改めて感じました。本当にありがとうございました。

いよいよ夏休みです。子どもたちは学校から離れ、家庭や地域で様々な体験を積んでいくことと思います。ご自分のお子さんとともに、すべての北っ子を温かく見守ってくださるよう、よろしくお願ひいたします。



わたしは、角田登山をしているとき、楽しく感じました。きつかったけれど、てっぺんでみんなとおべんとうを食べたり、遊んだりできたからです。4年生の角田登山も、足がいたくなってもがんばりたいです。

ぼくは、角田登山をして、あきらめないで登山することを学びました。登っている時に、みんなが、「がんばって!」「あきらめないで!」と声をかけあったからです。来年もあきらめないで登りたいです。

登山は、とてもつかれました。みんなががんばっているから、ぼくもがんばりました。と中で、4年生が声をかけてくれました。ちょう上でおべんとうを食べながら、「すずしくて気持ちがいいな」と思いました。



令和3年7月2日

3・4年生 角田山 を登り切りました



たくさんの保護者ボランティアの皆様のおかげで、無事に角田山登山を終えることができました。ありがとうございました。



登っている時はけっこう辛かったけど、登った後の達成感があって楽しかったです。みんなで協力してがんばって登っていたら楽しかったです。ひさしぶりにしぜんを感じられて空気もおいしかったです。

角田山登山は、つらかったけれど、3・4年生であきらめず登り、ゴールできました。山頂でのおべん当が、とてもおいしかったです。あきらめずがんばれば、必ずいいことがある!と思いました。今後は、何事もチャレンジしたいです。

私は、角田山登山で自分が立てた目標の通り、登山中にけがをした人や転んでしまった人に「大丈夫?」と声をかけることができました。あいさつをしたり、返してもらったので、気持ちよく登ることができました。